

夢のあるまちづくりを市民の皆さまと

議会だより

# 声のかけ橋

第89号

令和7年5月1日発行  
豊後大野市議会

特集 当初予算 2

9名の議員が市政を問う 7

キラリ★ひと言 20



三重総合高校吹奏楽部による  
議場コンサートを開催

令和7年度の一般会計、特別会計の予算は、3月11日・12日の2日間の予算特別委員会で審査されました。

令和7年度の一般会計当初予算案は、骨格予算の提案で総額273億5千万円を可決しました。

骨格予算と肉づけ予算

「骨格予算」とは、義務的経費を中心に編成した予算のことです。

春に選挙があるため、自治体のトップが変わると政策も変わる可能性があるため、その余地を残しています。

選挙後の6月議会において、その年度の新規事業を盛り込んだ修正予算が提案され、これを「肉づけ予算」といいます。

令和7年度予算 市長選挙の年なので骨格となる予算のみ

6月議会にて、肉づけ予算の提案があります。

骨格予算 273億5,000万円

一般会計当初予算 歳出		10万円単位四捨五入	比率	前年比
民生費	福祉などに使うお金	87億9,100万円	32.1%	△0.1%
総務費	給与や全般的な管理事務に関する経費	43億8,700万円	16.0%	△2.8%
教育費	学校教育や生涯学習スポーツ振興など	21億 800万円	7.7%	△52.6%
公債費	借りているお金の返済	29億3,800万円	10.7%	△1.5%
土木費	土木工事など	20億6,700万円	7.6%	30.6%
衛生費	市の衛生環境費用など	27億7,200万円	10.1%	8.2%
農林水産業費	農林業の振興のために	20億6,900万円	7.6%	△5.6%
消防費	消防や防災のために	11億3,700万円	4.2%	△21.4%
商工費	商工業振興や観光振興	3億6,800万円	1.3%	△15.6%
議会費	議会活動の経費	1億7,800万円	0.7%	△5.8%
その他	災害復旧費など	5億3,500万円	2.0%	87.7%
<b>歳出合計</b>		<b>273億5,000万円</b>	<b>100%</b>	<b>△7.1%</b>

特別会計当初予算	10万円単位四捨五入	前年比
国民健康保険特別会計	42億9,700万円	△7.1%
後期高齢者医療特別会計	8億1,200万円	0.4%
介護保険特別会計	66億8,300万円	1.2%
浄化槽施設特別会計	2,800万円	△9.7%

計上された新規事業一部紹介

- ・ 市政施行20周年記念事業・・・9,924千円
- ・ 旧緒方工業跡地整備事業・・・16,401千円
- ・ コミュニティ助成事業・・・16,200千円
- ・ 地域共生社会構築体制整備事業・・・500千円
- ・ 重層的支援体制整備事業・・・16,685千円
- ・ 定額減税不足給付金事業・・・101,349千円
- ・ 地域介護予防活動支援事業・・・4,604千円
- ・ 包括的支援事業・・・86,943千円
- ・ 生活支援体制整備事業・・・10,568千円
- ・ 妊婦のための支援給付交付金事業・・・16,045千円

- ・ 認定こども園整備事業・・・123,921千円
- ・ 特用作物振興対策事業・・・180千円
- ・ スマート畜産推進対策事業・・・1,070千円
- ・ 演劇活動者育成事業・・・607千円

飼い主のいない猫の不妊去勢に要する費用に対する補助が新設されました。

補助率1/2

補助対象上限：メス 1万円 オス 5千円

\* 詳細は、環境衛生課担当まで

一般会計当初予算 歳入		10万円単位四捨五入	比率	前年比
①市税など	みなさまからの税金	33億9,900万円	12.4%	4.8%
	繰入金及び繰越金	21億1,300万円	7.7%	6.1%
	財産収入及び諸収入	2億8,400万円	1.0%	16.9%
	使用料及び手数料	4億2,000万円	1.5%	△2.3%
	分担金及び負担金	2億8,400万円	1.0%	△12.9%
	寄附金	2億4,100万円	0.9%	0%
②地方交付金	国からの配分（税金）	105億2,600万円	38.5%	0.6%
③国庫支出金	国からの補助金など	40億1,600万円	14.7%	28.1%
④県支出金	県からの補助金など	27億1,000万円	9.9%	10.4%
⑤市債	借りるお金	19億 円	6.9%	△64.7%
⑥その他	地方消費税交付金など	14億5,800万円	5.3%	△5.0%
<b>歳入合計</b>		<b>273億5,000万円</b>	<b>100%</b>	<b>△7.1%</b>



①：自主財源（豊後大野市自前のお金） 67億4,000万円

②～⑥：依存財源（国や県からのお金） 206億1,000万円

基金残高

一般会計基金残高	153億5,900万円	△11.8%
財政調整基金	54億3,500万円	△6.7%
減債基金	7億3,000万円	△63.6%
特定目的基金	90億9,400万円	△4.0%
定額運用基金	1億 円	0%
特別会計基金合計	9億3,200万円	△13.9%

基金残高合計（貯金）= 162億9,100万円



前年度より21億9,900万円減

市債残高

一般会計市債残高	260億6,000万円	3.3%
浄化槽施設	2,400万円	△7.7%
上水道	26億9,800万円	△4.6%
病院事業	19億 300万円	△7.2%
下水道	5億7,200万円	

市債残高合計（借金）= 312億5,700万円



前年度より4億7,700万円増

\* 義務的経費…歳出のうち、法律や法令によって支出が義務付けられている経費。人件費、扶助費、公債費が該当する。

# 令和6年度一般会計補正予算（第10号）

4億4,436万2千円 **追加** 《一般会計予算総額》 335億6,119万円

3月5日議決 第10号補正予算の一部を紹介

## 地籍調査事業の増額

★地籍調査事業における県支出金の追加交付に伴い、調査地区を追加し事業実施するため

**1億7,739万円 ↑**

## 教育・保育施設運営事業費の増額

★国が定める特定教育・保育等に要する費用の額の算定に係る公定価格の引き上げのため

**1億1,884万1千円 ↑**

## 地域交通事業者等事業継続支援金の増額

★物価高騰を受けている公共交通事業者の事業継続を支えるため

**437万2千円 ↑**

## 基金運営管理事業の増額

★令和6年度普通交付税の追加交付があったため

減債基金積立金 **8,006万2千円 ↑**

公共施設整備基金積立金 **5,000万円 ↑**

## 飼料高騰対策事業の追加

★配合飼料価格の高騰の影響を受けている畜産農家の経営安定を図るため

**1,505万6千円**



▲飼料を食べる牛の様子

## 商工業推進事業の増額

★事業者等の支援のため

商業活性化支援事業補助金  
プレミアム商品券の発行事業に補助金を交付

**6,770万円 ↑**

貨物事業者運送事業者物価高騰対策支援金

**4,121万5千円 ↑**

プレミアム率 **30%**



▲令和5年度実施のプレミアム商品券のチラシ（現在は終了しています）

## サウナのまち推進事業の増額

★「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」における「ローカル10,000プロジェクト」（地域経済循環創造事業）に取り組むため

**5,000万円 ↑**

## 児童福祉事務費の補正

保育所等業務効率化推進事業補助金 **157万円 ↓**

保育対策総合支援事業補助金 **559万5千円 ↓**

きらきら子育てゆめ基金積立金 **3億33万5千円 ↑**

## 第1回定例会解説

第1回定例会は、2月21日～3月17日に次について審議されました。

議会は通常年に4回開催され、3月議会は今年になって1回目の議会なので第1回定例会といえます。条例改正や補正予算の審議、常任委員会、令和7年度予算審議等も行いました。閉会日に全てが可決され閉会しました。

また、各常任委員会では、議会版事務事業評価に対する執行部からの回答について予算特別委員会で質疑を行うかなど協議しました。

### 議案 27件

- ・ 条例の一部改正 7件
- ・ 条例制定 1件
- ・ 協議 1件
- ・ 財産の無償譲渡 1件
- ・ 財産の取得 1件
- ・ 補正予算（特別会計含む） 5件
- ・ 当初予算（特別会計含む） 9件
- ・ 委員の選任 2件

### 第1回定例会

#### 議員発議 1件

- ・ 豊後大野市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について



閉会日に上程（議事日程に組み入れて本会議の議案として取り扱う）された案件は27件でした。

公平委員会委員、固定資産評価審査委員会委員の選任については、閉会日に同意されました。

3月5日に、一般会計補正予算第10号、特別会計補正予算4議案が可決されました。

閉会日に、議員発議を含むすべての議案が可決されました。

## 朝地児童館を廃止、大野児童館の休館日及び開館時間の見直し。（豊後大野市児童館条例の一部改正）

豊後大野市朝地児童館を廃止→朝地児童クラブへ移行  
 豊後大野市三重ふれあい児童館開館 午前9:30～午後6:00  
 豊後大野市大野児童館開館 ※午後1:00～午後6:00

※ただし夏休み、冬休みなどは午前9:30～午後6:00  
 （詳しくは児童館にお尋ねください）



▲朝地児童クラブ（内観）

## 豊後大野市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正。

令和7年4月より 子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現するための措置の拡充等を図るため条例の一部を改正します。

- ・ 育児又は介護を行う職員の深夜勤務及び時間外勤務の制限  
条文の一部変更（抜粋）  
 3歳に満たない子のある職員 → 小学校就学の始期に達するまでの子のある職員
- ・ 勤務環境の改善に関する措置  
 配偶者と父母、子、配偶者の父母他規則で定めるものの介護をするため、以下の3点が新たに明記されました。  
 ○職員に対する介護両立支援制度にかかる研修の実施  
 ○介護両立支援制度等に関する相談体制の整備  
 ○その他介護両立支援制度等に係る勤務環境の整備に関する措置

# 3月も白熱! 一般質問 という名の 政策提案

9名の議員が登壇

## 川野市長に、ズバッと質問ビシッと提言

2月27日、28日に行われた一般質問には9名の議員が登壇し、過疎化対策、学校給食、重層的支援、防災・減災、交通対策、働く場の確保など26項目にわたり、執行部と活発な論戦を展開しました。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問と答弁を要約して掲載しております。また、議員の写真下に掲載しているQRコードをスマートフォンで読み取ることで、一般質問の録画中継をご覧いただけます。

### ●川野 辰徳 (8ページ)

- 豊後大野市民病院について
- 豊後大野市図書館について
- 三重町と清川町の悪臭問題について
- 関係人口交流拠点施設cocomioについて
- ネパール出張について
- 過疎化対策について

### ●佐藤 昭生 (8ページ)

- 豊後大野市消費生活センターについて
- 地域おこし協力隊について
- 「大分の野菜畑」について
- 学校給食について

### ●吉藤 里美 (8ページ)

- 常備消防体制について

### ●高野 辰代 (10ページ)

- 令和7年4月からスタートする予定の重層的支援体制整備事業について
- 子どもの健やかな未来のための取組について
- 通学時の安全対策について

### ●衛藤 竜哉 (10ページ)

- 防災・減災について
- 地域福祉の取組は
- 鳥獣被害の状況は

### ●原田 健蔵 (10ページ)

- 重層的支援体制整備事業について

### ●工藤 秀典 (12ページ)

- 自治会で設置する防犯カメラに対する補助金の新設について
- 県道三重新殿線の次の交通対策について

### ●後藤 雅克 (12ページ)

- 働く場の確保について
- 市長、市議会議員選挙の投票率について

### ●春野 慶司 (12ページ)

- 小学校のカリキュラムに、そろばんの時間を取り入れたらいかがか
- プレミアム商品券の発行について
- 合併前から存在する自治会の公民館の耐震化について
- 人口減少を食い止めるための壮大なプロジェクトについて

※一般質問＝議員個人が市の行財政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問。  
一般質問は各定例会で行われ、本市議会の場合、質問時間は答弁も含め1人60分以内の一問一答方式で行っています。

各議員の議案に対する賛否の状況(令和7年第1回定例会)																		
※○＝賛成 ×＝反対 退＝退席 欠＝欠席 除＝除斥 田嶋栄一議員は議長職のため表決権はありません。																		
会 派 名	議員名	議決年月日	議決結果	新国会					れいめい会	緑政会	政友会	創生会	無党派					
				穴見 眞児	吉藤 里美	嶺 英治	後藤 雅克	高野 辰代	工藤 秀典	原田 健蔵	春野 慶司	佐藤 昭生	首藤 正光	川野 優治	沓掛 義範	小野 順一	佐藤 辰巳	赤峰 映洋
条例の一部改正等																		
	豊後大野市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び豊後大野市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊後大野市職員の給与に関する条例の一部改正について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊後大野市児童館条例の一部改正について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊後大野市子ども・子育て支援法に基づく過料に関する条例の一部改正について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊後大野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊後大野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊後大野市水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊後大野市病院企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊後大野市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般																		
	他の普通地方公共団体の公の施設を豊後大野市の住民の利用に供させることに関する協議について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	財産の無償譲渡について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	財産の取得について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
補正予算																		
	令和6年度豊後大野市一般会計補正予算(第10号)	3月5日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度豊後大野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	3月5日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度豊後大野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	3月5日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度豊後大野市介護保険特別会計補正予算(第4号)	3月5日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度豊後大野市病院事業特別会計補正予算(第2号)	3月5日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算																		
	令和7年度豊後大野市一般会計予算	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度豊後大野市国民健康保険特別会計予算	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度豊後大野市後期高齢者医療特別会計予算	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度豊後大野市介護保険特別会計予算	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度豊後大野市浄化槽施設特別会計予算	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度豊後大野市電気事業特別会計予算	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度豊後大野市下水道特別会計予算	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度豊後大野市下水道特別会計予算	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度豊後大野市病院事業特別会計予算	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
選任																		
	豊後大野市公平委員会委員の選任について	2月21日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊後大野市固定資産評価審査委員会委員の選任について	2月21日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○





たかの たつよ  
高野 辰代 議員  
(新政会)



議員の一般質問の様子が  
ご覧いただけます

問

重層的支援体制整備事業についてこれまでとどう違うのか

答

従来の相談支援体制を維持しながら包括的に相談を受け止める

問 4月からの重層的支援体制整備事業は、どのようなことを実施するのか。

社会福祉課長 相談支援、参加支援、地域づくり、アウトリーチ支援、各機関協働に関する事業を一体的かつ重層的に実施。それぞれの分野が持つ専門性をお互いが活用できるよう、複雑化・複合化した事例については他機関協働事業へつなぎ、支援プランを作成。

問 簡単に事業の説明を。

社会福祉課長 地域づくり事業は、住民同士で支え合う関係性を育む。支援につながるが難しい方の場合には自宅訪問等を通じた継続的支援を、参加に向けた支援が必要な方には社会とのつながり作りに向けた支援を実施。

子どもの健やかな未来のための取組について

問 子ども医療費の無償化が充実したが、医療費はなかなか治療できない症状のために「鍼灸治療」を受けている子どもがいる。無償化の対象にならないか。

生活福祉統括理事 保険適用にならない小児鍼等の鍼灸治療については、無償の対象とは考えていない。



▲小児鍼の様子



えとう たつや  
衛藤 竜哉 議員  
(無党派)



議員の一般質問の様子が  
ご覧いただけます

問

防災シンポジウムの成果とこれからの取組は

答

R7年度以降も継続して行う

問 防災シンポジウムは多くの市民が興味を持った良い企画だった。防災・減災の継続的な企画に期待したいが市の考えを伺う。

総務企画統括理事 ジオパーク推進協議会の主催で「巨大地震に対する心構え」と題して自助・共助の重要性について講話をした。今回のような企画は、非常に効果的であると実感したので、R7年度以降も継続して行おうと考えている。

地域福祉事業の取組について

問 人口減少、高齢化の波が激しい。住民の集う機会がなくなっていると聞く。これまでの地域福祉事業にプラス、見直す必要があると思うが考えを伺う。

生活福祉統括理事 事業の維持、継続ができるかが大きな課題と考えている。推進については、市民の積極的な活動の参画が必要である。関係団体や事業者等のもと引き続き取り組む。

鳥獣被害の状況は

問 集落で獣害対策のワイヤーメッシュ柵の設置が行われている。現状の把握等の調査はしているのか伺う。

農林整備課長 市内で2024か所の設置となっている。あらゆる取組や情報を猟友会と共有し、今後も被害軽減の情報について注視していく。



▲防災シンポジウムの様子



はらだ けんぞう  
原田 健蔵 議員  
(れいめい会)



議員の一般質問の様子が  
ご覧いただけます

問

R7年度から実施の重層的支援体制整備事業について

答

円滑な支援を行えるよう取り組む

問 重層的支援とはどのようなものか。

社会福祉課長 地域住民の複雑化、複合化した支援ニーズに対して適切に対応するため相談から支援計画の作成や実施まで一体的に行えるように、各課をまたいだ体制を整備すること。

問 体制整備の必要性と課題について。

社会福祉課長 少子高齢化等による個人や地域が抱える生きづらさや問題の複雑化・複合化により、一つの分野の制度利用だけでは個人や世帯に対する支援が困難なケースが見られ、分野を横断した支援体制の整備が必要となっている。

問 体制整備の進捗状況について。

社会福祉課長 これまで福祉部署を中心に庁内の連携会議を行

い、相談の受付方法や連携の仕方の協議、実例を用いた模擬支援会議や研修等を実施。4月からの実施に向け、分野を超えた関係機関及び地域住民等と連携する場を持ち、課題を共有し、円滑な関係作りをめざす。

福祉系団体との連携体制は。

社会福祉課長 社協とは地域福祉の取組で連携を重ね、障がい者の相談機関や、生活困窮者の相談窓口である「くらし支援センター」等も関係機関となることから研修参加等で理解を深めてきた。



▲重層的支援体制整備事業に関する研修の様子

くらし支援センター…「生活困窮者自立支援法」に基づく総合相談窓口。市役所本庁舎1階に設置。



くどう ひでのり  
質問者／**工藤 秀典** 議員  
(新政会)



議員の一般質問の様子が  
ご覧いただけます

**問** 県道三重新殿線開通後の次の交通対策は

**答** 早期完成に向けて取り組む

**問** 県道三重新殿線の完全開通の予定は。

**建設課長** 県の予算が未確定であるため現段階では未定。  
**問** 今後の計画は。

**建設課長** 令和6年度の工事内容は、大野川に架かる2号線の橋脚の完成と2号線の上部工について、今後架設作業に入る。

**問** 中九州横断道路に準ずる道路の新設を、県や国に要望してはいかがか。

**建設課長** 本市としては、まず事業進捗中である県道三重新殿線バイパス及び中九州横断道路の早期完成に向け取り組む。



▲県道三重新殿線の工事の様子 (三重町上田原)

高齢者を行方不明にさせないための取組は

**問** 高齢者を行方不明にさせないために行政としてどのようなことを実施しているのか。

**高齢者福祉課長**

認知症高齢者等が行方不明になった場合に「徘徊高齢者等SOSネットワーク事業」を実施している。本年1月末現在125人を登録。本事業の趣旨に賛同し協力いただける法人、事業所51事業所が登録。また、徘徊高齢者等位置情報提供サービスも実施し、GPS機能を有した専用端末を貸与しており、本年1月末現在で7人を登録している。

GPS…Global Positioning System の略。  
人工衛星を利用して位置情報を取得するシステム。



ごとう まさかつ  
質問者／**後藤 雅克** 議員  
(新政会)



議員の一般質問の様子が  
ご覧いただけます

**問** 働く場の確保について

**答** スピード感をもって、着実に取り組む

**問** 川野市長の掲げた公約の一つ「働く場の確保」について、市長2期目4年間の実績と公約実現のための具体的な政策について。

**市長** 主な実績は、医療機器製造企業の工場増設、食品加工企業の設備投資、酒造メーカーの工場増設等、3事業者に助成をし、新規雇用の創出に努めた。

関係人口交流拠点施設では、13件の創業支援ができた。

農業分野の「インキュベーションファーム事業」では、R3年度から6年度までに、9組18人が市内で就農した。

本年度から「豊後大野市企業誘致促進及び創業支援基金」を創設し、企業側が提示する様々な進出条件に迅速に対応するとともに、本格的な誘致

活動を行うこととした。

具体的な政策は県と市が連携し、工業団地適地調査を実施しており、早期に工場用地を整備し、企業側に情報提供できる体制を整えていきたい。また、現在実施している工業用水確保の試掘ホールディング調査結果や、策定中の企業誘致推進プランを活用し、戦略的に誘致活動を行う予定。引き続き、直面している最大かつ喫緊の課題の人口減少を克服するため、これまで以上のスピード感をもって、着実に取り組みたい。



▲酒造メーカーのビール工場 (千歳町)



はるの けいし  
質問者／**春野 慶司** 議員  
(れいめい会)



議員の一般質問の様子が  
ご覧いただけます

**問** 小学校のカリキュラムにそろばんの時間を取り入れたらいかがか

**答** 授業時数を増やすのは困難

**問** 文科省の指導要綱に3、4年次にそろばんの授業を取り入れることが明記されているが現状は2年間で4～5時間の授業にとどまっている。立命館小学校では1年から4年まで年間100時間の授業が組まれていて次のような成果をあげている。

「IQや計算能力、暗算能力等の認知能力が向上することはもとより、いわゆる「やる気」、「忍耐力」、「協調性」、「自制心」、「社会性」といった非認知能力の向上にも資することが研究で証明されている。年間100時間とまではいなくても現在の4～5時間から大幅に増やすことはできないか。

**学校教育課長**

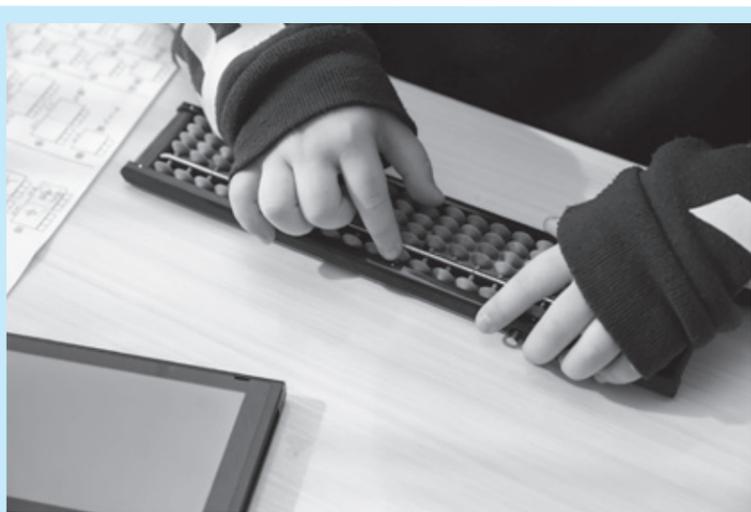
そろばんの時間を大幅に増やすことは現状では

難しい。

**問** 腹の据わった先生が算数の時間にそろばんを取り入れることは可能か。

**学校教育課長**

教育課程外であれば可能ではないかと考える。



▲そろばん (イメージ)

# 事務事業評価

## 執行部の回答は……

令和6年9月定例会において各常任委員会ですら事務事業評価を行い、評価報告書を執行部へ渡し、改善策や次年度の予算への反映状況などを報告するよう求めていました。

今回、評価報告書に対する回答が執行部からありましたのでご紹介いたします。なお、評価報告書の詳細は議会だより声のかけ橋第88号に掲載しています。

### 評価報告書の概要

<p><b>総務常任委員会</b></p> <p>◆【調査事業】 新エネルギー導入 促進事業</p> <p>【事業結果の評価】 おおむね適正</p> <p>【今後の方向性】 改善</p> <p>◆【調査事業】 地域公共交通 活性化事業</p> <p>【事業結果の評価】 良好</p> <p>【今後の方向性】 継続</p>	<p><b>厚生文教常任委員会</b></p> <p>◆【調査事業】 デイケア等交通費 助成事業</p> <p>【事業結果の評価】 おおむね良好</p> <p>【今後の方向性】 継続</p> <p>◆【調査事業】 キャリア教育 推進事業</p> <p>【事業結果の評価】 良好</p> <p>【今後の方向性】 継続</p>	<p><b>産業建設常任委員会</b></p> <p>◆【調査事業】 椎茸生産基盤 整備事業</p> <p>【事業結果の評価】 良好</p> <p>【今後の方向性】 継続</p> <p>◆【調査事業】 交流人口拡大事業</p> <p>【事業結果の評価】 おおむね適正</p> <p>【今後の方向性】 改善</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 総務常任委員会

【事業名】  
新エネルギー導入  
促進事業

【回答(抜粋)】

現在、地球温暖化対策の推進を図り、時代のニーズに即応した新エネルギー政策を掲げた計画の策定に向け、既存の豊後大野市新エネルギービジョンの見直しと豊後大野市地球温暖化対策実行計画(区域政策編)策定に向けた取組を進めています。また、市内大野町にあるサイクリングハブ施設において再生可能エネルギーの普及啓発を行っています。

【事業名】  
地域公共交通  
活性化事業

【回答(抜粋)】

令和5年12月にコミュニケーションバス車内にて行った利用者アンケート調査結果で、コミュニテイバ

り組んでいきます。サイクリングハブ施設についても利用度を上げる取組を進め、再生可能エネルギーの普及啓発を行っていきます。

なお、施設の利活用については、市民や利用者にとって身近で親しみやすい施設となるよう、施設維持管理委託事業者、市内においてサイクリングツアーを実施している方、観光事業者、プロサイクリルチーム等、各関係機関と協議を進めていきます。

【事業名】  
地域公共交通  
活性化事業

【回答(抜粋)】

令和5年12月にコミュニケーションバス車内にて行った利用者アンケート調査結果で、コミュニテイバ



▲清川町と千歳町で走るコミタク車両

### 厚生文教常任委員会

【事業名】  
デイケア等交通費  
助成事業

【回答(抜粋)】

事業内容について、同様の事業を行っている他市を参考としながら調査・研究し、必要であれば事業内容の見直しを検討します。

事業内容の調査・研究後、広報や新規手帳交付時に周知を行っていきます。

【事業名】  
キャリア教育推進事業

【回答(抜粋)】

キャリア教育の推進に当たり、キャリア教育コーディネーターを教育委員会に引き続き配置し、地場企業を活用した職場体験、地域人材(は



▲消防士によるキャリア教育の様子



▲保育士についてのキャリア教育の様子

ぐくみ先生)を招いての職業講話・職業学習(匠のWAZA)の内容充実を図るとともに、各学校のキャリア教育担当者

と連携して事業の深化を図ることに努めます。協力者の確保については、引き続き、新規協力者をコミュニティスクールや他機関と連携しながら募集していきます。教職員に対しては、各学校の取組を教育委員会通信「へプタゴンだより」で

提言のあった職場体験学習の充実については、地域の枠を超えた体験を可能とするため、交通費や自動車借上げ料を予算へ反映しています。また、2か月に1回「キャリア教育」を市報に掲載

### 産業建設常任委員会

【事業名】  
椎茸生産基盤整備事業

【回答(抜粋)】

事業の推進に当たっては、県の補助事業を活用し、事業を推進しております。補助率の見直しについては、生産者の要望を踏まえ、より椎茸生産者の負担軽減に資する制度の確立に向け、県との協議を重ねていきます。

また、県の新たな事業についても、生産者の意向を把握しながら積極的に採り入れていきたいと考えています。

【事業名】  
交流人口拡大事業

【回答(抜粋)】

商工観光という視点からの指標で判断する必要性については、現在も実

施している合宿団体や大会主催者、選手、保護者へのアンケート内容を見直し、評価につなげます。また、宿泊施設の利

用状況も、旅館、ホテル組合と協力しながら調査します。サイクルツーリズム事業については、イベント参加者数の増、「サイクルパークおの」の利用者調査を行います。

委託先とのつながりについては、委託先である豊後大野市観光協会、3SEEDS株式会社と協働でイベント運営に携わりながら、これまで以上に地域の魅力向上や交流人口の拡大等に努めます。事業の充実と独自性のある事業を進めることについては、スポーツツーリズム推進協議会など関係機関と意見交換を



▲豊後大野 サウナ&サイクリング

行いながら、検討していきます。

PRの強化については、合宿や大会誘致においては、スポーツ団体協議会の総会等、あらゆる機会を通じて周知に努めます。サイクルツーリズムに関しては、ホームページやSNS、委託先である3SEEDS株式会社と連携し、イベント周知に努めます。

# 2024市民と議会の意見交換会での意見に対する 執行部回答と 常任委員会調査結果 公表

## 総務常任委員会

朝倉文夫記念公園内に設置されている重機

【意見】朝倉文夫記念公園に野ざらしで置かれている重機がそのままになっている。市として何らかの対応をしてほしい。

### 調査結果

朝倉文夫先生の意思を引き継ぎ、またその功績を継承するため、平成3年3月、「愛の園生朝倉文夫記念公園」は開園し、重機にどの程度修理を施したかは不明だが、公園計画のシンボルとして平成2年に設置されている。

設置から34年、造成からだとは62年の年月が過ぎ、重機の塗装がはがれる、部品が取れるなど、痛みがひどく、立入禁止のロープで囲いを設置している。

## 執行部回答

議員の自殺について第三者委員会の設置

【意見】令和4年10月に教育委員会所属の職員が自殺した。当時内部調査委員会を設置し、調査を行ったとのことだが、市民として納得できない。第三者委員会を設置し、市民が納得できるような調査過程を踏み、公表してほしい。

【回答】令和4年10月6日付で教育委員会に内部調査委員会を設置し、当該事案の調査を実施した。調査の結果、職場を原因とした事案ではないとの結論に至っている。この結果を受け、ご遺族に結果を報告し、ご理解いただいているものと認識している。以上の経緯を踏まえ、第三者委員会の設置は不要と判断している。



▲朝倉文夫記念公園にある重機

## 産業建設常任委員会

### 耐震化に関する取組

【意見】昭和56年5月以前に建てられた木造戸建て住宅と木造アパートについて、市での耐震診断や改修事業の補助金がある話を聞いた。また、他県では低コストで耐震

化できる事業者が技術指導してもらう取組が行われていた。耐震化に関する予算を増やしてほしい。

### 調査結果

耐震診断・耐震改修の受付については、令和7年度はまた一からの募集となる。前年度に申し込んだ方を優先する制度はない。

低コスト工法については、他県では、平均改修費が210万円から150万円程度になったという実績が上がっており、大分県が来年度実施を予定している。それに伴い、改修支援の補助金の上限を増やす取組も大分県で行い、併せて本市でも一件あたりの補助金の増額を検討している。

令和7年度予算については、例年通りで申請し、年度当初に申し込みが殺到すれば、令和6年度と同様に予算確保に努める。

## 第88号千歳公民館の記事について

議会だより第88号の市民と議会の意見交換会のページで「千歳公民館だけ千歳の出身者がいない」という市民意見を掲載していましたが、精査した結果、地元職員の方が勤務していることを確認しました。市民の誤解を招く記事となったことをお詫び申し上げます。

豊後大野市 ホームページ

▼

豊後大野市議会

▼

市民と議会の意見交換会

## 豊後大野市議会だより

# モニターの皆様 1年間ありがとうございました。



豊後大野市議会では、議会だよりの充実を図るため、議会だよりにへの提言やご意見をお伺いする「議会だよりモニター」を1年間試験的に導入しました。10名がモニターになっていただき、第85号（令和6年5月1日発行）より、議会だよりについてのご意見をいただきました。

最終回は、「モニターに取り組んだ感想」「今後、期待すること」の2点についてご意見をいただきました。

ここでは、ご意見を抜粋し紹介させていただきます。

ご協力いただきましたモニターの皆様、1年間ありがとうございました。これからも議会だよりの応援団として愛読ください。

## モニターに取り組んだ感想。

◇ 先入観持つ事なく、紙面を見てみると各所に工夫の痕跡と思われる部分がありました。また、議員各位が諸課題に真剣に取り組む様子を知ることができました。

◇ 厳しい辛口の見解にもお付き合いいただき、ありがとうございます。

◇ 以前は一般質問の後、その後どうなったかやむやみになるケースも度々あると感じましたが、現在は検証されているので良いと思いました。

◇ モニターになり初めて議会だよりをゆっくゆっく読み、豊後大野市のことがわづかながらわかりました。今まであまり気にしていなかった市政ですが、住みよい町づくりのために私ができる限りのことをしたいと思いました。

## 今後の議会だよりに期待すること。

◇ 一般質問の内容を見て気になった問題についてQRコードから録画中継を見ることができると「議会だより」を市民によく知ってもらいたい」という思いも伝わりますが、どのくらい文字数を減らしているかが課題としたいと思います。

◇ 常に「わかりやすさ」に重点の置くべきで全市民に意図が伝わらなければ広報紙としての存在意義はないに等しいと考えます。荷の重い仕事かと思えますが、応援しています。

◇ 今の状態を保ちつつ市民のための議会だより作りを期待しています。

◇ 今後、住民の生活環境を改善したり地域の魅力や活力を発信したりできる議会だよりになるよう議論して欲しいです。

◇ 他の自治体同様人口減少が進んでいるが、何とか速度を緩やかにするために多様な市民の意見を聞き、市民目線で紙面作りをしてください。市民と議会のかけ橋を期待しています。

◇ カタカナ横文字が多い。「わかりにくい議会用語」の解説があり助かりましたが、高齢者が読まない理由の一つでは？と思います。

◇ 改めて議会の大切さを感じています。市の政策や施策も議会の判断で決定しています。豊後大野市の人口問題は最重要課題として、議会だよりにもそこを感じたい。首長より議会の方が市民の声を聞けると思います。また機会があればモニターをしたいと思っています。

2年を振り返って



委員長として、議会広報の大切な役割を果たすため最初にどんな広報をめざすか、全員で協議しました。まずは、記事を豊富に掲載すべく、紙面を確保する必要があったため、一般質問を1人1ページから3人で2ページにし、700文字を500文字に変更しました。議員全員のご理解をいただき、議案質疑の内容や「次世代リーダー」からの声、議会モニターの声、議会の年間サイクル、「あの質問どうだった」などの新しい取組ができました。

これからも「声のかけ橋」が議会を身近に感じていただくきっかけになると幸いです。議会をよりご覧いただき有難うございました。



今期は他の役職と兼務になった事で、日程が度々重なることとなり委員の皆さんに無理をかけたしまい、申し訳なく思っています。そして、委員の皆さんの協力で、市民の方に喜んで読んで頂ける議会だよりの発行が出来た事と、2年の任期を無事に終えらる事に感謝とお礼を申し上げます。

また、「モニター」の皆さんには広報紙発行の度に、貴重な感想・ご意見・提言等をいただき大変ありがとうございました。これからも、よりよい議会だより「声のかけ橋」の発行のために、ご協力いただきますようお願い申し上げます。2年間、ありがとうございました。

2年を振り返って

広報委員を務めた6名から



副委員長 工藤 秀典  
一期後半の2年間も議会だよりをご愛読いただきまして、ありがとうございました。より良い議会だよりを作るために、先進地視察に出かけ、見るや否やダメ出しを食らった事が一番記憶に残っています。それで、広報委員6人の目の色が変わったと思います。先進地の広報はどれも議員自ら足を運び、文章を作り、割り振り等情熱をもって取り組んでいました。より良い議会だよりを作るには、私たち議員が汗をかかなければと痛感しました。この2年いかがだったでしょうか。変化を感じられたでしょうか。広報委員みんな睡眠時間を削り、汗をかいたつもりですが。



委員 後藤 雅克  
改革とは、何か・・・高野委員長の号令により、「声のかけ橋」の大幅リニューアルを断行した2年間。たりえず。改革は簡単ではなかった。担当職員より「他市町村は、議員自らが原稿を作成しています。本気で改革するならば、議会職員に頼らず、自ら動いてください。」と、真つ当な指摘に心揺さぶられ、私たちの戦いは始まりました。何より、年長の議員に対し臆することなく発言する職員がいることに感銘した。だからこそ、彼の心意気に応えることが、市民に届く。議会広報紙になることを信じ2年間原稿を書き続けました。感謝。



委員 川野 辰徳  
この2年間を振り返って高野委員長、工藤副委員長を始め、注釈を使ったりやすく解説。配置にもこだわり、モニターの方々からも市政により興味が出てきたとお褒めの言葉もいただきました。写真撮影も、今までは、議会事務局の職員に任せましたが、各議員がそれぞれの役割を決め、自ら進んで写真撮影もするようになりました。この令和7年の第1回定例会号が最後になる事が、とても寂しくもありますが、立派な「議会だより」ができました。5月から、選挙で選ばれた新しい議員の方々には、益々良い「議会だより」を期待しています。2年間ありがとうございました。

私たちが大人こそ正しい学習を

～お互いを尊敬しあつて～

人権研修会 開催される

2月7日、監査委員・選挙管理委員そして議員を交えた「人権研修会」が議会委員会室にて開催されました。

テーマは「社会を変えるのは私たちです お互いを尊敬(尊重)しあつて」

として、市役所人権・部落差別解消推進課の園田孝吉氏を昨年同様、講師として実施されました。

まず最初に日本国憲法が保障する基本的人権とは「侵すことのできない永久の権利」であり、現在及び将来の国民に与えられる、言い換えるならば、未来の人のためであること。

しかし、普段の努力によって保持することができ、努力しないと無くなることもありえること。そしてこの基本的人権

は水平社運動と相まって自由獲得の努力の成果といえます。

全国水平社創立理念「一人の世に熱あれ、人間に光あれ」

今から約百年前に発表された「水平社宣言」は、お互いを尊敬することによって、すべての人々が、部落差別をはじめ、あらゆる差別を受けることなく、その人らしく暮らしていける温かい社会の実現を願う気持ちが入められたものだったことを学びました。

また、大分県で部落差別解消教育(同和教育)が始まったのは70年代からであり、まだ50年しか正しく教育が行われていない現状も知りました。今、子どもたちは小学校、高校等で部落差別問題などの正しい学習をしており、私たち大人こそ、正しい学習をし、人権感覚を磨き続けることが大切だと感じました。

そして、人権研修終了後にはハラスメント防止に関する学習も行い、職場におけるパワーハラスメントの内容については、「優越的な関係を背景とした」言動や「業務上必要かつ相当な範囲を超えた」言動、そして、「就業環境が害される」等について説明を受けました。

また、パワーハラスメントに該当すると考えられる例、しないと考えられる例についても学び、お互いを大切にしよう言動をとることを再認識しました。



▲人権研修会の様子

議会日誌

1月

- 14日(火) ・ 第33回議会広報編集特別委員会
- 16日(木) ・ 第1回議会運営委員会
- 21日(火) ・ 産業建設常任委員会
- 24日(火) ・ 総務常任委員会
- 29日(水) ・ 第19回議会活性化委員会

2月

- 5日(水) ・ 第2回議会運営委員会
- 7日(金) ・ 議会全員協議会
- 14日(金) ・ 第3回議会運営委員会
- 17日(月) ・ 第1回定例会議案学習会
- ・ 第20回議会活性化委員会
- ・ 第34回議会広報編集特別委員会
- 18日(火) ・ 第4回議会運営委員会
- 21日(金) ・ 第1回定例会開会
- 27日(木) ・ 本会議(一般質問)
- 28日(金) ・ 本会議(一般質問)

3月

- 5日(水) ・ 本会議(議案質疑)
- ・ 第21回議会活性化委員会
- 6日(木) ・ 総務常任委員会(付託議案審査)
- ・ 厚生文教受任委員会(付託議案審査)
- ・ 産業建設常任委員会(付託議案審査)
- 11日(火) ・ 予算特別委員会(特別会計)
- 12日(水) ・ 予算特別委員会(一般会計)
- 13日(木) ・ 予算特別委員会(一般会計)
- 17日(月) ・ 第1回定例会閉会
- ・ 第35回議会広報編集特別委員会
- 26日(水) ・ 第36回議会広報編集特別委員会

児童・生徒の思いを紹介

第89号

令和7年  
5月1日発行

発行：大分県豊後大野市議会  
編集：議会広報編集特別委員会

〒879-7198 大分県豊後大野市三重町市場1200番地  
TEL 0974-22-1026 FAX0974-22-8101

WEBでもご覧いただけます。

豊後大野市議会

検索

サンクスの気持ちを伝え合う第一っ子

三重第一小学校には、3本のくすの木、通称「サンクスの木」があります。サンクスは、感謝やありがとうという意味です。「サンクスの花」の活動では、花の紙に感謝の気持ちを書いて伝えます。私は、友だちが頑張っていたことなどを書いていました。友だちから「書いてくれてありがとう」と言われて嬉しい気持ちになりました。他にも、私たちの学校には、サンクスチャレンジ集会（サンチャレ）やお別れサンクスフェスティバル（サンフェス）等の集会があります。サンチャレは、3～6年生がクラスごとにお化け屋敷や魚釣りなどのお店を出して、全校で楽しむ集会です。昨年私は、お化け屋敷を出して、みんなが盛り上がってくれたので嬉しかったです。サンフェスでは、5年生が劇や遊びを考え、1～5年生がお世話になった6年生を楽しませる集会です。これからも様々な集会や学校生活の中で、みんなでサンクスの気持ちを伝え合いながら活動したいです。

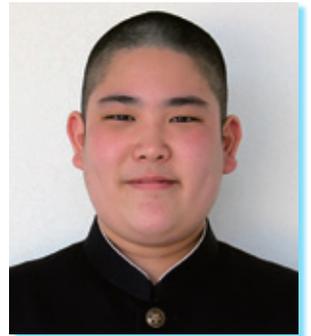


三重学園三重第一小学校6年

しみず なぎさ  
清水 渚

県下一への道

三重中学校では、後期の間、3分前入室・2分前着席・1分前黙想を行う、3・2・1GO礼や授業中の私語ゼロの徹底、あいさつを呼びかける三年坂みとせがきチャレンジなど、各専門委員会を中心に様々な活動に取り組みしました。まだまだ完璧とは言えませんが、一歩ずつ県下一に近づいていると実感しています。僕は、この「県下一」という目標が、三重中学校の伝統であり、誇りであり、魅力であると思っています。これからも三重中の目標である「県下一」の三重中学校にもっと近づけられるように、頑張っていきます。



三重学園三重中学校9年

さとう とき  
佐藤 季

また、三重中学校は令和7年度から小中一貫校になり、三重学園に生まれ変わります。三重学園になるにあたり、どのような学園にしていきたいかについて、生徒会のメンバーで考えました。すると、みんなの期待が高まるような思いがたくさん出てきました。これからはみんなで県下一を誇れる学園になっていけるよう、頑張っていきたいです。

※文章は3月に提供していただいたもので、学年は現在のものです。

編集後記

いよいよこの6人の議員プラス議会事務局2名とつくり上げてきた「議会だより」も最終号となりました。紙面にはあらわれませんが、白熱したやりとりの連続でした。次号からは新しい議員、委員さんになりますが、引き続きご愛読お願い致します。最後に、毎号意見をいただいたモニターの方々、お世話になりました。（工藤）

議会を傍聴してみませんか？

次回の定例会は、  
6月頃に開会予定です。

広報編集特別委員会

委員長	高野 辰代
副委員長	工藤 秀典
委員	小野 順一
委員	後藤 雅克
委員	原田 健蔵
委員	川野 辰徳



見やすく読みまちがえにくいユニバーサル  
デザインフォントを採用しています。